

地域農業分析支援シートを用いた野菜産地の構造分析手法

【1 成果の特徴】

「地域農業分析支援シート（農業経営研究室作成）」を用いた野菜産地の構造分析手法を提案します。本シートを用いることで、効率的に地域単位・品目毎の分析が可能です。

【2 分析手法】

- ア 「地域農業分析支援シート」で、分析したい地域（JA・旧市町村等）を選択します。
- イ データの抽出条件として分析したい野菜品目のデータを選択し、作付経営体数、作付面積、販売金額、経営主年齢別経営体数、後継者有無等のグラフを出力・分析します。
- ウ さらに、特に重要な視点として、経営形態別（個人又は団体）、販売金額規模別、作付規模別、経営主年齢別で細分化し、より詳細なグラフを出力・分析します。

【地域選択】

岩手県 **ア**

農協

町等

【データの抽出条件】

作付経営体 **イ**

or

作付経営体 **ウ**

うち経営主年齢別

うち作付規模別 等

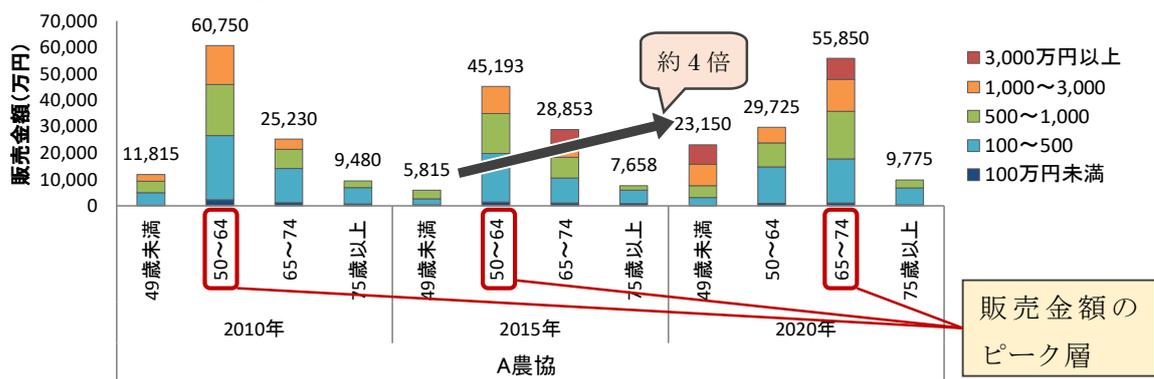
【分析する主な項目】

- 経営体数
- 経営形態
- 販売金額
- 経営主の年齢
- 経営耕地面積
- 後継者の有無
- 作付面積 etc.

【3 分析の一例】

下図は、地域農業分析支援シートで出力したグラフの一例です。このグラフはA農協のピーマンを対象とした場合ですが、2020年には販売金額のピーク層が65～74歳層になるなど高齢化が進展していること、49歳未満層の販売金額が増加しており、うち1,000万円以上層が多いなどの特徴がみられます。

ピーマン_経営主年齢別 × 販売規模別販売金額(推計)



【3 留意事項】

本シートの詳細は、研究レポート No. 1068「グラフでみる地域農業分析支援シート」を参照ください。

【4 活用場面】

県農政関係課・普及センター・市町村・農協等における野菜産地の構造分析を支援します。